

令和8年 年頭の挨拶

年頭挨拶

若いパワーを取り込み、
発揮してもらい業界発展の年に

全日本一般缶工業団体連合会 会長
東日本一般缶工業協同組合 理事長

最上 裕光



あけましておめでとうございます。
謹んで新春のご挨拶を申し上げますと
ともに、日頃より当組合の活動に多大な
ご支援とご協力を賜り、心より感謝申
し上げます。

昨年を振り返りますと、アメリカのト
ランプ大統領が再選され、大幅な関税政
策による日本経済への大きなダメージ
が心配されましたが、日経平均株価は過
去最高を記録し、関西万博も当初の予想
を上回る来場者数で大いに盛り上がり
を見せました。一方で、物価高と政府の
推進により最低賃金は過去最大級の増
加幅となり、我々中小企業の経営に大き
な負担としてのしかかりました。

そのような中、当連合会開催のイノ
ベーションフォーラム2025におい

て「中小企業の未来を考える」―人が集
まる会社づくり―と題して、株式会社古
田土経営代表鈴木知朗様に採用、定着
育成などについて事例を交えながらご
教授いただきました。

また11月には東日本組合の行事として
情報交換会を開催し、鉄鋼3社の営業責
任者の皆様方にご出席いただき、当組合
員が懸案としている、受注の小ロット化
対応、物流、エネルギーコスト上昇問題
等、忌憚のない会議の内容を聞いていた
だき、鉄鋼3社の皆様からも率直な感想
などを頂くことができました。

さて本年は高市政権による、減税措置
や経済対策に、期待するところもありま
すが、これまで同様に、他素材容器との
差別化、付加価値提案を目指し、お客様
や社会から必要される缶を皆様と共に
つくっていききたいと思っております。

2026年の干支は丙午で、物事が大
きく動き出し、新しい挑戦や飛躍のチャ
ンスの年だそうです。課題は多くありま
すが、一般缶業界にも若い人材、経営者
層が増えてきており、その若いパワーも
取り込みながら、また発揮してもらいな
がら業界発展の年にしたいと考えます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り
多き一年となりますことを心よりお祈
り申し上げますとともに、引き続きご支
援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上
げます。

年頭所感

国際秩序の変化に対応しつつ、
皆様とともに強い経済を
実現する一年に

経済産業省製造産業局 金属課長

鍋島 学



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び
申し上げます。

昨年も、岩手県大船渡市で発生した林
野火災や青森県東方沖を震源とする地
震をはじめとして、多くの災害が発生し
ました。被災されたすべての皆様に、改
めてお見舞いを申し上げます。

昨年、世界では、米国の鉄鋼・アルミ、
銅に対する追加関税措置が発表され、E
Uやカナダにおいても関税割当措置や
追加関税が発表されるなど、国際貿易環
境に大きな変化がありました。そうした
中、国内では、日経平均株価が初めて
5万円の大台に乗せるなど、これまでの
日本経済からの変化の基調が現れまし
た。

人手不足、インフレ圧力の高まりな

ど、多くの課題はありますが、今年は、米国の関税措置などの国際秩序の変化に対応しつつ、皆様とともに強い経済を実現する一年としてまいりたいと思います。

昨年10月に誕生した高市政権において、危機管理投資・成長投資を集中的に行う17つの戦略分野が示されました。こうした投資を官民一体で推し進めることで、我が国経済の自律性や、世界における不可欠性を高めながら、成長を実現してまいります。

物価上昇を上回る賃上げを実現するために、適切な価格転嫁が重要です。本年1月1日より中小受託取引適正化法・受託中小企業振興法が施行されました。同法により新たに規制対象とされた協議に応じない一方的な代金決定の禁止を徹底するとともに、サプライチェーン上の複数事業者の連携を支援してまいります。

GXの分野においては、昨年来、改正GX推進法に基づく排出量取引制度を具体化すべく、各分野別の排出量原単位等の作りこみを行ってきました。2026年度はいよいよ本制度を本格稼働させる年となります。GX製品の需要創出、排出削減が困難な産業向けの燃料転換や製造プロセス転換に対する支援も同時に進めることで、脱炭素化に向けた皆様の取組を後押ししてまいります。

す。

最後に、皆様の益々の御発展と本年が素晴らしい年となることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶 気運に頼らず 実践連続の年に

西日本一般缶工業協同組合 理事長

清水 雄一郎



明けましておめでとうございます。

組合員並びに賛助会員、関係各社の皆様、昨年は当組合の活動にご協力いただき誠にありがとうございました。また、皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2025年もあつという間の一年で、年々時間の流れが加速しているかのようを感じております。昨年は大阪・関西万博が開催され、大阪や近畿圏に多くの人々が訪れ観光や土産物を中心に大きな消費が生まれたと実感しております。そ

の他にも阪神タイガースのリーグ優勝、大阪駅前のグラングリーン大阪のオープンなど、2025年は大阪・関西が盛り上がりを見せた年だったように思います。このような各地域を中心とした内需の盛り上がりの連続が日本全体の景気の上昇につながるのですが、実際には連続することなく単発で終わることが多く、流れに乗ることも大事ですがやはり、各企業が変化をつけた独自の取り組みができるかにかかっているのではないかと思います。2026年は丙午となり「情熱」「活力」「変革」の気運が

高まり社会が大きく動く年とも言われています。一年の捉え方としてはとても良い年になりそうですが、結局のところ企業や個人として何もしなければ何も起きないわけで、この丙午の良い気運に乗るためには、やはり待つだけではなく行動しなければならぬのではないのでしょうか。商品開発、生産性向上、コストアップへの対応、人の採用など、各社課題は山積みでやるべきことには事欠かない中、課題解決に向けた取組みをいくつ実践できるかが重要ではないかと思えます。その取組みの連続で各社の業績が向上し、一般缶業界全体の業績と気運が高まることを願いつつ、新年のご挨拶を締めくくりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭挨拶 価値ある製品づくりに邁進し、 地域産業の発展にも微力ながら 貢献していく

中部製罐工業協同組合 理事長

安藤 宏行



あけましておめでとうございます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げますとともに、旧年中は、製缶業界の皆様より多大なるご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また、日々の業務を通じて多くの学びと励ましをいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

昨年は、米国の貿易政策や地政学リスクが重なり、世界経済が大きく揺れ動きました。特に、相互関税の導入により国際貿易に混乱が生じ、企業はサプライチェーンの見直しを余儀なくされました。

我々の業界でも、依然として厳しい状況が続いており、物流の遅延や供給不足が生産活動に影響を与え、原材料およびエネルギーコストの高騰、少子高齢化に

よる労働者人口の減少など多くの課題に直面いたしました。若手人材の育成、確保は製造業において欠かせない課題となっております。

AI技術は、2025年において創造的なツールから実用的なツールへと変化し、ビジネスや社会において重要な役割を果たすようになりました。

当業界においても、生成AIを導入、活用し、ロボットを導入するなどの取り組みを進め、業務の生産性や正確性の向上だけでなく、各々の企業の競争力や付加価値を高めるさまざまな変革を推進していくことが求められます。

本年は午年です。駆ける馬の勢いにあやかり、業界全体がさらなる飛躍を遂げる一年となることを祈念しております。私ども組合もその歩みにしっかりと並走し、挑戦と成長を続けるべく、気持ちを新たに組み込んでまいります。

また、ものづくり県・愛知に拠点を置く企業として、培ってきた技術力と現場力をより一層磨き上げ、品質向上と安定供給に努めてまいります。製缶業界を支える一員として、皆様とともに価値ある製品づくりに邁進し、地域産業の発展にも微力ながら貢献していく所存です。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

年頭挨拶

丙午の年を金属印刷業界が駆け抜ける年に

全日本金属印刷工業協同組合連合会 会長

菅谷 誠一



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年6月、中田正和前会長から会長職を引き継ぎ、早くも半年余りが経過いたしました。前会長は2010年の就任以来、実に14年の長きにわたり本連合会の舵取りをされ、金属印刷業界の発展に多大なる貢献をされました。その偉大な足跡を継承しつつ、新たな時代に相応しい組織運営を進めてまいります。

本年は十二支の「午年」、より正確には六十年に一度巡る「丙午（ひのえうま）」の年にあたります。馬は古来より前進と躍動の象徴とされ、一度も後ろを振り返らずに前へと進む姿から、新たな挑戦と飛躍を象徴する縁起の良い年とされてきました。「丙」は太陽のような明るさと情熱を、「午」は行動力とスピードを表します。我々もこの午年の精神を

胸に、業界の未来に向けて力強く駆け抜けてまいりたいと考えております。

昨年10月、憲政史上初の女性総理大臣として高市早苗首相が誕生し、高市内閣が発足いたしました。中小企業支援策と産業競争力の強化、特に賃上げ環境の整備とデジタル化への対応支援は、我々金属印刷業界にとっても追い風となることを期待しております。

近年、最も大きな経営課題となっているのが労務費の上昇です。しかし、この問題を単なるコスト増として捉えるのではなく、産業の健全化へ向けた重要な転換点として前向きに受け止めるべきです。私ども金属印刷業界は、高度な技術と熟練の技が求められる産業であり、その技術を支えるのは人です。人への投資なくして業界の未来はありません。日頃より格別のご愛顧を賜っております。金属印刷業界の皆様とともに持続可能な事業基盤を築くため、労務費の適正化について相互理解を深めながら、丁寧に対話を重ねてまいりたいと考えております。

本年は世界的なスポーツイベントが目白押しです。2月のミラノ・コルティナ冬季オリンピック、3月のWBC、そして6月から7月にかけての史上初48カ国参加のサッカーワールドカップと続きます。アスリートたちが限界に挑戦する姿は、私たちに前へ進む勇気を与えてくれます。この高揚感を胸に、我々も

日々の仕事に誇りと情熱を持って取り組んでまいります。

令和8年、丙午の年を、金属印刷業界が駆け抜ける年としたいと思います。馬が前だけを見てひたむきに駆け続けるように、我々もどんな困難があろうとも、前を向いて一歩一歩着実に駆け抜けてまいりましょう。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

必要に応じて時代に即した形でのあり方を模索

東京都鍼灸地金商業協同組合 理事長

松苗 昭文



あけましておめでとうございます。

全日本一般缶工業団体連合会様には長きにわたり、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬお付き合いの程、宜しくお願い申し上げます。今年のお正月は穏や

かにお迎えされた方も多く居られたことと存じます。

さて昨年の世界を振り返って見ますと、米国では1月にトランプ政権2期目が発足し、その関税政策は日本を含む世界を当惑させました。ロシアのウクライナ侵攻問題は、足下米国、欧州諸国含め和平への取り組みが開始されておりますが、いまだ出口が見えない状況となっております。一方、日本では7月に参院選で大敗を喫した石破政権が9月に退陣、10月には、公明党が連立を離脱し、新しく日本維新との新連立で、日本憲政史上初の女性首相となった高市政権が発足しました。また台湾有事発言に起因する日中摩擦、物価高問題、人手不足、コメ不足、熊騒動、記録的猛暑など激動の1年となりました。

一方嬉しいニュースでは、大谷、山本、佐々木選手がポストシーズンでも大活躍し、ドジャースがワールドシリーズ連覇を果たし、大いに日本をも歓喜させてくれました。

この他にもスポーツ界においては数々の日本選手の素晴らしい活躍を目の当たりにし、感動と勇気をもらいました。また、関西万博の盛況、阪口志文・北川進両科学者がノーベル賞を同時受賞された事も記憶に新しい嬉しいニュースとなりました。

さて、今年はどうな年になるのでしょうか？

まずは穏やかで平和な年になることを願うばかりです。業界といったしましては、その需要動向は依然厳しい環境下にあります。当組合は昭和29年以来、70年以上にわたり東京都鉄力地金商業協同組合として運営してまいりましたが、組合員各社の資金調達、材料の共同保管・共同運送といった当初の目的は、現状では既に会員各社で独自になされており、時代の変化とともに目的としては既に形骸化してきております。また、元々同一団体で事務局も共有しております。まず東京都鉄鋼製品商業協同組合様も後継者不足のことより今年度をもって解散とお聞きしております。我々の組合といったしましても、今年度末をもって解散の方針を固めました。今後も「材料をお届けする」というサプライチェーンの一角としての役割を果たしていくとの使命につきましては何ら変わるものではないです。今後業界としては必要に応じて時代に即した形でのあり方を模索していきたいと思っております。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年も一般缶業界の皆様にとりまして新しい活気溢れる明るい年になりますよう祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

西日本一般缶工業協同組合

組合新春懇親会を開催

令和8年1月6日、西日本一般缶工業協同組合は、大阪市の「梅田:ホテルグランヴィア大阪」において新春の組合互礼の懇親会を開催した。

清水雄一郎理事長は冒頭で「皆さん、明けましておめでとうございます。あっという間に2025年の1年も過ぎました。

昨年は、阪神タイガースの優勝があり、また万博でそれなりの仕事がありました。今年は、そのポッカリとした穴埋めを良い方向に考えていかなければならないと思っております。

今年は、丙午の午年で変化の年です。

“皆さん、馬に乗る準備は出来ていますか”

ということで、会社の足腰を鍛錬した足取りで仕事を駆け抜けていきたいと思っております。一般缶各社において課題は色々ありますが、情報を共有して良い方向に持っていく必要があります。業界全体として色々な面で情報交換をしていきたい。皆様にご協力いただくとともに、市場の変化を見極めながら、課題を解決していくことも必要です。今年も皆様と親交を深め良い1年としたいと思っております」と挨拶した。

次に、乾杯を渋谷剛志副理事長の先導で行ない懇親に移った。組合会社他9名が出席、賀詞交歓と和やかな懇談が行なわれた。

最後に、小西康晴副理事長が閉会挨拶を行って盛会裡に散会した。



組合新春懇親会 参加者の皆さん

令和8年
新年賀詞交歓会

最上会長

「情報の共有や連携をさらに深め、 持続可能で魅力ある一般缶業界に」



全日本一般缶工業団体連合会は1月15日、東京・千代田区大手町のLEVELEX東京會館で新年賀詞交歓会を開催した。所屬員会社、特別會員、特別賛助會員、一般賛助會員、協力會員、賛助會員、協賛會員など175人が参集し、渋谷剛志運営委員の司会で進行了。



会長挨拶 最上会長

挨拶に立った最上裕光会長は「一般缶業界を取り巻く環境は、インバウンド需要やお菓子缶のブームなど追い風もあるが、原材料やエネルギーコストの高騰、人手不足、多品種少量生産と、課題は複雑化している。しかし一般缶には大きな強みがあり、意匠性や機能性、用途に応じた柔軟な設計、各製缶会社が培ってきた技術力と工夫は、お客様のこだわりや付加価値をカタチにできる、私たちの存在意義そのもの。これからの時代、お客様の商品価値を高めるパートナーとして新しい

ニーズに応えていくことが求められる。新たな潮流として自社製品の企画開発などが活発に行われており、情報の共有や連携をさらに深め、持続可能で魅力ある一般缶業界を広めていきたい」と新年の抱負を語った。



来賓挨拶 鍋島金属課長

次いで来賓を代表し、経済産業省製造産業局の鍋島学金属課長が「1月1日からは中小受託取引適正化法が施行されている。ここ数年來かなり取り組みは進んできたが、取適法の施行を機に一層こうした価格転嫁が実現することができればと思う。人手不足などいろいろな問題があるとは思いますが、すべての企業で物価高に負けない賃上げができるような経済のプロジェクトを作っていく必要があると考えており、経済がますます強いものになり、皆さまの需要、商売にも影響が出ること願っている」と挨拶した。



乾杯挨拶 東洋銅板(株)河村部長

次いで鉄鋼メーカーを代表して東洋銅板(株)缶材営業部の河村和彦部長が連合会の繋がりにある力を強固なものにして、みんなが共に支え合いながら乗り越えていければと思う」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。歓談のあと清水雄一郎副会長の中締めで散会した。



中締め挨拶 清水副会長

司会
渋谷氏

合同部会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和7年11月18日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウィーナ大阪で合同部会を開催した。

出席者は7人。



合同部会 参加の皆さん

1	各社の近況報告について	<ul style="list-style-type: none"> * 本年6月以降での各社の近況報告と大阪万博後の缶需要と今後について幅広い分野（鋼材、副資材、人件費、物価等）の値上げを含めて価格転嫁への対応は、各社の違いはあるが対応は終わっている。 * 今後も、引続き原材料のコストアップに注視していく。 * 売上げ%は上がっているが、価格転嫁分を含めると収益に影響を及ぼしている。 * 万博での缶需要（菓子缶等）があったが、その後、来年以降の売上販路を考えていかなければならない。
2	物流の『2024年問題』への対応について	<ul style="list-style-type: none"> * 各社での対応は違っているが、例として、荷出し（積合い）を共有してトータルの物流コスト減の方法をとっている。 * コンテナ等の必要な時間を調整して効率化を計っていく。 * 運転手の高齢化や人員不足等で、コストが上がると思われる。
3	人材確保の種々の対応について	<ul style="list-style-type: none"> * ハローワークでの人材確保は難しい。他の方法で派遣業者等で人員確保を行っているが、思うようにいかないのが現状。 * 缶需要の繁閑差が大きいので、人材のやりくりが難しい。 * 男女差関係なく、広範囲に適材適所で採用したい。
4	各種補助金対応について	<ul style="list-style-type: none"> * 各種補助金（省エネ、設備等）の申請について、府・市の公的助成の広報を見た時では遅れる。事前に情報等を得たい。 * 省エネや設備への補助申請は、申請書類が多岐に渡るので、例えばコンサルを使っでの申請も一考。（費用対効果で） * 今後、必要があれば、次の合同部会で申請例を伺いたい。
5	夏季の熱暑を経て、今後の暑さ対策等について	<ul style="list-style-type: none"> * 今年の夏は特に暑く、各社の対応を伺ったが、対応には多額の費用が発生するということで、種々の取組を今後も伺い来年の夏季へ準備していく。
6	その他（今後の行事日程）	<ul style="list-style-type: none"> * 全日本一般缶工業団体連合会 新年賀詞交歓会開催 日時：令和8年1月15日（木）18：00～ 場所：東京都千代田区大手町『東京会館』 * 合同部会・技術交流会開催 日時：令和8年1月22日（木）14：00～ 場所：アウィーナ大阪2階『銀杏の間』

令和7年度「情報交換会」を開催

東日本一般缶工業協同組合は令和7年11月21日、鉄二健保会館で流通・交流委員会企画による「令和7年情報交換会」を開催し、組合員ら、25人が参加した。司会進行は神宮善太郎営業流通チーム副委員長が務めた。

第一部では、筒井久流通・交流委員長が全日本一般缶工業団体連合会で半期毎（4～9月期、10～翌年3月期）に実施している「景気動向等に関するアンケート」の集計結果のうち、東日本組合分を集計した結果を報告した。次いで第二部では、グループ討議（①原材料価格変動を踏まえた顧客対応②人件費、エネルギー、輸送費等、コスト上昇への対応策）③多様化するニーズへの小ロット対応）がA・Bの2グループに分かれ行われた。討議終了後にグループ長による発表があり、Aグループからは水戸部製缶（株）代表取締役の水戸部伸寿氏、Bグループからは（株）東都製缶代表取締役の横川達也氏がそれぞれ報告した。最後に筒井委員長がまとめと閉会の挨拶を行い終了した。



情報交換会会場

活発なグループ討議を展開

水戸部副理事長、筒井理事が東京都中小企業団体中央会会長賞を受賞

令和7年10月16日、東京都中央区銀座ブロッサムで開催された東京都中小企業団体中央会の創立70周年記念表彰式において、東日本一般缶工業協同組合の水戸部伸寿副理事長及び筒井久理事が多年組合の経営に尽力され組合発展に寄与した功績により、同中央会会長賞を受賞した。



中央会会長表彰（水戸部氏と筒井氏）

4S会会議開催

西日本一般缶工業協同組合

4S会の会議は、令和7年10月9日（火）午後3時40分より大阪市の「ホテル日航大阪」において開催された。

関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合の3組合から14名が出席した。

第1議題 『各組合の業界状況並びに関連諸問題』について話し合われた

●西日本一般缶工業協同組合の清水理事長から「価格転嫁が進んで売上が100%であっても数量は減少、組合員各社で価格転嫁の進捗と売上成長に期待している。鋼材の大幅値上げ、副資材の値上げへの対応や価格転嫁への取組みも、ほぼ見通しがついたと認識しているが、引き続き動向（薄板関係）に注視したい。」

●また「賃上げ、エネルギーコスト等を含めた全ての面で値上げ対応は今後も継続していく。」

第2議題 『各業界における課題、問題点』

●若手従業員が一度の失敗で離職するケースが多く、定着しにくい。

●缶需要の繁閑差が大きく人材のやりくりも大変になっている。

●印刷事業において、具体的な付加価値の定義は難しいが、例として小ロット生産の対応などが考えられる。

●原料価格の上昇分を製品価格へ十分に転嫁することが難しく、対策として製品の種類を減らすメーカーも出ている。

●値上げを行うと、顧客が他の容器へ切り替えるなどして売上がゼロになるリスクがある。

●原材料費に加え、検品工数の増加や人件費の上昇も経営を圧迫している。

●夏場の工場内が高温になることが、人材採用の大きな障壁となっている。

●顧客からの支払いサイトは、従来の120日や180日から90日や60日へ短縮されるケースが出ている。

●特に缶業界は、仕入れから現金化までのサイクルが長く、旧来の慣習が根強く残っている。

●各社、各業界の課題が顕在化しており、確実に課題解決していくことが重要であること、引き続き情報交換し、協力していくことで会議を終えた。



4S会 会議風景

全日本一般缶工業団体連合会

「エコプロ2025」に共同出展 当ブースには学生中心に 多数来場

全日本一般缶工業団体連合会は令和7年12月10日から12日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2025」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

当連合会では、会員各社からご提供いただいた一般缶並びに一般缶の8つの特性と金属印刷の流れについて説明したパネルを展示。新たに行った「缶釣り」では、来場者にスチール缶は身近なものだと感じてもらった。また、当連合会のDVD「人の技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と3R（スリーアール）」、スチール缶リサイクル協会のDVD「スチール缶リサイクルのおはなし」、全国十八リットル缶工業組合連合会のDVD「18リットル缶戦隊ゴガロンジャー」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。

当展示ブースには、3日間でおおよそ2千人強の方々が来場した。この展示会を通じて「リサイクルの優等生である一般缶（スチール缶）」の良さをおおいにアピールした。



缶釣り体験をする子供たち

和7年6月～11月までの 一般缶生産出荷実績

(単位:t)

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
7. 6	3,892 (3,490)	3,903 (3,546)	0 (20)	10,289 (9,863)
7	3,768 (3,610)	3,783 (3,703)	0 (30)	10,269 (9,737)
8	2,981 (3,176)	2,810 (3,148)	0 (34)	10,440 (9,728)
9	3,621 (3,659)	3,514 (3,526)	40 (7)	10,544 (9,850)
10	4,239 (4,543)	3,932 (4,177)	0 (21)	10,838 (10,193)
11	4,096 (4,505)	4,021 (4,361)	0 (48)	10,917 (10,283)

経済産業省データ

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
7. 6	2,851 (2,722)	2,778 (2,741)		7,932 (7,534)
7	2,803 (2,876)	2,802 (2,911)		7,906 (7,464)
8	2,400 (2,694)	2,426 (2,673)		7,827 (7,526)
9	2,852 (2,890)	2,723 (2,712)		7,944 (7,656)
10	3,357 (3,485)	3,185 (3,378)		8,096 (7,794)
11	3,146 (3,445)	3,170 (3,418)		8,074 (7,828)

連合会データ

()内は前年同月実績
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載



	東京都鈺力地金商業 協同組合 理事長 松苗昭文 東京都中央区日本橋大伝馬町一七 電話 〇三(三六六)三八五七 FAX 〇三(三六六)八三五八	金方堂松本工業株式会社 代表取締役社長 松本旭央 東京都台東区東上野一二八一二 電話 〇三(三三八三)一一九一 FAX 〇三(三三八三)七一四四	日進製缶株式会社 代表取締役 小黒保満 埼玉県八潮市南後谷五〇八一二 電話 〇四八(九三三)三五六一 FAX 〇四八(九三三)一八四九	江戸川製罐工業株式会社 代表取締役社長 渡邊達也 大阪府大阪市鶴見区今津北 電話 〇六(六九六)六七六一 FAX 〇六(六九六)三二五八
日本製鉄株式会社 代表取締役社長兼COO 今井 正 東京都千代田区丸の内二一六一 FAX 〇三(六八六)四九九六	全日本一般缶工業団体連合会 会長 最上 裕光 副会長 安藤 宏行 副会長 清水雄一郎 東京都台東区浅草橋五〇四一五 ハシモトビル五〇二 電話 〇三(五八〇)九三三三六	水戸部製缶株式会社 代表取締役社長 水戸部伸寿 東京都千代田区神田和泉町 電話 〇三(三六六)一一六六 FAX 〇三(三六六)二三八八	株式会社ヒロハマ 代表取締役 廣濱庄一郎 東京都墨田区石原二二八一一 電話 〇三(三六二)五一六八〇 FAX 〇三(三六二)一六八八	奥村製罐株式会社 代表取締役社長 奥村清司 京都府綴喜郡井手町多賀西松ヶ花一 電話 〇七七四(八二二)〇七八 FAX 〇七七四(八二二)四三二四
JFEスチール株式会社 代表取締役社長 広瀬政之 東京都千代田区内幸町二二一一三 電話 〇三(三五九)七三一一一	東日本一般缶工業協同組合 理事長 最上 裕光 東京都台東区浅草橋五〇四一五 ハシモトビル五〇二 電話 〇三(五八〇)九三三三六 FAX 〇三(三六六)四〇九一一	株式会社神宮製作所 代表取締役 神宮芳次郎 千葉県野田市上三ヶ尾二六一 電話 〇四(七二五)一二六一 FAX 〇四(七二五)三六三七	大阪製罐株式会社 代表取締役社長 清水雄一郎 大阪府東大阪市岩田町二二二一三 電話 〇六(六七三)五五四五 FAX 〇六(六七三)四七四〇	下宮金属工業株式会社 代表取締役 下宮正裕 大阪府堺市堺区南島町三一三 電話 〇七二(二二三)八二二〇 FAX 〇七二(二二三)八二四〇
東洋鋼板株式会社 代表取締役社長 甲斐政浩 東京都品川区東五反田二一八一一 大崎フォレストビルディング 電話 〇三(四五三)六八六〇 FAX 〇三(三二八)八一六〇	西日本一般缶工業協同組合 理事長 清水雄一郎 大阪府大阪市北区天神橋 一四一七 千代田第一ビル 電話 〇六(六三三)一九七三 FAX 〇六(六三三)一九六七	江戸川製罐株式会社 代表取締役 岩田明義 東京都江戸川区平井五〇四六一九 電話 〇三(三六一)四一三一 FAX 〇三(三六一)五〇三四	生野金属株式会社 代表取締役 小西康晴 大阪府高石市高砂三一二四 電話 〇七二(二六八)〇七七七 FAX 〇七二(二六八)〇七八二	株式会社ゼンユー 代表取締役社長 砂川秀樹 大阪府大阪市淀川区加島 電話 〇六(六三三)四〇三一 FAX 〇六(六三三)二二〇〇
日本製罐株式会社 代表取締役社長 西尾文隆 埼玉県さいたま市北区吉野町 電話 〇四八(六六五)一二二七五 FAX 〇四八(六五二)九〇三一	中部製罐工業協同組合 理事長 安藤宏行 愛知県岡崎市宮地町字郷東三九 電話 〇五六四(五二)一五六一 FAX 〇五六四(五二)一五六三	株式会社東都製缶 代表取締役 横川達也 埼玉県吉川市土場九三 電話 〇四八(九八二)〇四七一 FAX 〇四八(九八二)〇四七六	明和金属工業株式会社 代表取締役 渋谷剛志 大阪府高石市取石七五一一六 電話 〇七二(二七四)二二〇一 FAX 〇七二(二七四)六三六五	日西製罐株式会社 代表取締役 矢谷満里子 大阪府大東市御領三一五一一〇 電話 〇七二(八七四)〇九七一 FAX 〇七二(八七五)四二五二
全日本金属印刷工業 協同組合連合会 会長 菅谷誠一 東京都墨田区業平一一一六 本所ビル二階 電話 〇三(三六二)二四〇一 FAX 〇三(三六二)二五〇二	最上CAN株式会社 代表取締役 最上 裕光 埼玉県久喜市清久町二二三 電話 〇四八(〇九六)一六九〇 FAX 〇四八(〇九六)一七四三	東邦金属工業株式会社 代表取締役社長 吉田亜津史 東京都江戸川区松島四一三七一六 電話 〇三(三六五)四八九一 FAX 〇三(三六五)七三三八	エース精器株式会社 代表取締役 有山健一 大阪府東大阪市西石切町 電話 〇七二(九八二)一〇八一 FAX 〇七二(九八二)一〇六七	三國金属工業株式会社 代表取締役社長 板垣 毅 大阪府豊中市豊南町西四一七二〇 電話 〇六(六三三)二〇二五一 FAX 〇六(六三三)二〇二五五



側島製罐株式会社
代表取締役 石川 貴也
愛知県海部郡大治町大字西條字附田 八九一
電話 〇五二(四四二)五一一一
FAX 〇五〇(三三三五)七三三七

エイコー株式会社
代表取締役 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

二橋プリント株式会社
代表取締役 二橋 英之
埼玉県三郷市彦川戸一三八一六
電話 〇四八(九五三)二二六六
FAX 〇四八(九五三)五四二一

松本金属工業株式会社
代表取締役 松本 勝俊
大阪府大阪市北区天満二二二一八
電話 〇六(六三三)〇九四三
FAX 〇六(六三三)七六四〇

山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本 浩之
大阪府大阪市北区大淀中 五一一一一四
電話 〇六(六四五)五一四一
FAX 〇六(六四五)〇八二一

高野興業株式会社

代表取締役 高野 康弘
東京都墨田区本所一 二一三
電話 〇三(三六二)一六六六
FAX 〇三(三六二)六二六四

株式会社MOBY

代表取締役社長 石原 拓大
千葉県市川市塩浜一 一四
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

株式会社城北磁力印刷工業所

代表取締役社長 竹腰 三徳
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一
電話 〇四七(一九八)二六一一
FAX 〇四七(一九八)二七七九

株式会社井上博商店

代表取締役社長 井上 歩美
大阪府大阪市住吉区万代東 一一一四〇
電話 〇六(六六九)一一二五
FAX 〇六(六六九)一一二七

有限会社山野初製缶所

代表取締役 木下 光美
大阪府八尾市太田七 一〇
電話 〇七二(九四八)〇五五八
FAX 〇七二(九四八)二八五五

富安株式会社

代表取締役社長 川合 正明
東京都墨田区太平四 五一一五
電話 〇三(五六一)七七七〇
FAX 〇三(五六一)七七六〇

大成ブリキ印刷株式会社

代表取締役社長 中田 正和
茨城県稲敷郡河内町長竿 富田四四六
電話 〇二九七(八六二)二〇一
FAX 〇二九七(八六二)二四二〇

株式会社江連金属印刷所

代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

是松鋼商株式会社

代表取締役社長 是松 一郎
大阪府東大阪市楠根二 六一三
電話 〇六(六七四)二三六一
FAX 〇六(六七四)四〇〇〇

株式会社ライトハウス金属工場

代表取締役 岩橋 徹
大阪府大阪市鶴見区今津中 二一四一三四
電話 〇六(六九六)〇四四一
FAX 〇六(六九六)二二九八

中村商事株式会社

代表取締役社長 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一 七一
電話 〇三(五六八)五九六六
FAX 〇三(五六八)六一五五

東都金属印刷株式会社

代表取締役 菅谷 誠一
千葉県船橋市小野田町一五一 一三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

新里機工株式会社

代表取締役 金澤 幸一
埼玉県川口市東領家四 七一
電話 〇四八(二九一)九〇九七
FAX 〇四八(二九一)九〇九八

三幸商事株式会社

代表取締役社長 武田 有広
大阪府大阪市西区北堀江 一一二二一四
電話 〇六(六五四)九三三一
FAX 〇六(六五四)三五八八

日東製罐販売株式会社

代表取締役 安藤 宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五一)一五六一
FAX 〇五六四(五一)一五六三

明邦鋼業株式会社

代表取締役社長 藪内 敏行
埼玉県越谷市新川町一 一四五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社

代表取締役社長 菊井 洋祐
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二五)一五八一
FAX 〇四八(九二五)二六二〇

株式会社N・P・W技研

代表取締役 山本 亮太
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九一)一三三三
FAX 〇五九六(三九一)一三三六

株式会社神光

代表取締役 小河 朋久
兵庫県加東市長貞一 八二七
電話 〇七九五(四七)一九八三
FAX 〇七九五(四七)一九九六

静岡製缶有限公司

代表取締役 松永 明人
静岡県静岡市駿河区豊田二 一八一八
電話 〇五四(二八七)〇一三三
FAX 〇五四(二八七)〇五〇五

スチールリーフ株式会社

代表取締役社長 茂木 孝之
東京都葛飾区亀有五一 四八一五
電話 〇三(三六二)〇八〇三〇
FAX 〇三(三六二)〇八〇六〇

株式会社日本金属印刷所

代表取締役 若松 幹雄
東京都墨田区業平三 一〇一九
電話 〇三(三六二)五六一〇一
FAX 〇三(三六二)五六一〇四

富士メタルプリンティング株式会社

代表取締役 菊井 洋祐
静岡県島田市市河九八 五一四
電話 〇五四七(三八)三八五一
FAX 〇五四七(三八)三八五三

西部容器株式会社

代表取締役社長 川島 大吾
大阪府摂津市別府二 一三一八
電話 〇六(六三九)一六五一
FAX 〇六(六三九)七二二八



株式会社

愛罐コーポレーション

代表取締役 菅井 秀容
東京都渋谷区本町二丁目三十九番一四
電話 〇三(五三〇四)五五二五
FAX 〇三(五三〇四)五五二六

大貫金属工業株式会社

代表取締役 大貫 雄一
東京都葛飾区西新小岩五丁目一七番一八
電話 〇三(三六九一)六一七九
FAX 〇三(三六九一)六一七九

株式会社

セゾン保険サービス

代表取締役社長 渡邊 美彦
東京都豊島区東池袋四丁目二番一
電話 〇三(三九八八)八三二二
FAX 〇三(三九八五)六九八四

千代田第二工業株式会社

代表取締役社長 鈴木 信夫
東京都狛江市岩戸北三丁目一十一番九
電話 〇三(三四八八)四二二一
FAX 〇三(三四三〇)〇四三七



東日本一般缶工業協同組合 CPSM会

令和7年11月12日久能カントリー倶楽部で第77回CPSM会を開催した。参加者は22人。

上位入賞者は次の通り。

優勝	戸谷 豊氏 (日本金属印刷所)	44
二位	江連一義氏 (江連金属印刷所)	43
三位	中田正和氏 (大成プリキ印刷)	13
シニア枠	中田正和氏 (大成プリキ印刷)	74
優勝	中田正和氏 (大成プリキ印刷)	48
	(大成プリキ印刷)	42
	(大成プリキ印刷)	90
	(大成プリキ印刷)	10
	(大成プリキ印刷)	80

次回は令和8年4月8日に開催予定。

西日本一般缶工業協同組合

缶友会ゴルフ会

令和7年10月28日奈良国際ゴルフ倶楽部で晴天の下、第165回のゴルフ会を開催した。

上位の入賞者は次の通り。

優勝	増田 竜介氏 (井上博商店)	43
二位	石川 豪志氏 (神崎金属印刷)	41
三位	小島 善男氏 (中村商事)	13.2
		70.8
		57
		47
		30.0
		74.0

次回は令和8年5月に行う予定。



缶友会ゴルフ会 参加者の皆様

令和7年8月から 令和8年1月までの行事

東日本一般缶工業協同組合

令和7年

8/19 流通・交流委員会
第1回営業流通チーム打合せ
(Zoom)

9/8 流通・交流委員会
第2回営業流通チーム打合せ
(Zoom)

9/18 第3回理事会
(ハイブリット)

9/18 秋の懇親会

10/9 CPSM会幹事会

10/16 東京中央会

10/31 「創立70周年記念会長表彰式」
流通・交流委員会

11/7 第3回営業流通チーム打合せ
(Zoom)

11/18 流通・交流委員会
第4回営業流通チーム打合せ
(Zoom)

11/21 第77回CPSM会
流通・交流委員会

11/21 第4回理事会
(Zoom)

11/21 流通・交流委員会
営業流通チーム「情報交換会」
忘年会

12/19 事務局長協会「忘年会」

西日本一般缶工業協同組合

令和7年

8/1 役員会

9/17 大阪府中央大会

10/9 4S会会議

10/28 缶友会ゴルフ
合同部会

12/4 役員会

令和8年

1/6 組合新春懇親会

1/7 大阪金属印刷組合新年互礼会
合同部会・技術交流会会議

全日本一般缶工業団体連合会

令和7年

9/3 エコプロ2025
「第1回出展ブースWG会議」
エコプロ2025

9/29 「第2回出展ブースWG会議」
経済産業省金属課

10/7 「令和7年度一般缶工業状況ヒアリング」
エコプロ2025

10/27 「第3回出展ブースWG会議」
スチール缶連絡協議会

11/4 エコプロ2025
「出展ブース配布資料セット」

12/10 「エコプロ2025」共同出展

令和8年

1/8 三役年挨拶回り

1/14 全国十八リットル缶工業組合連
合会「新年賀詞交換会」

1/15 第2回理事会(役員会)

1/15 令和8年新年賀詞交歓会
スチール缶連絡協議会

令和8年2月から 8月までの行事予定

東日本一般缶工業協同組合

令和8年

2/5 第45回優良従業員表彰式

2/12 人材育成委員会

3/12 第5回理事会

4/8 第78回CPSM会

4/未定 監事会

5/未定 第48回通常総会

西日本一般缶工業協同組合

令和8年

3/25 役員会

4月上旬 4S会ゴルフ

5/19 第58期定時総会

5月下旬 缶友会ゴルフ
合同部会

6月上旬 役員会

8月上旬 役員会

全日本一般缶工業団体連合会

令和8年

組合伝言板

《代表者交代》

(東日本組合員)

(須貝金属工業所)

代表取締役 横川 達也

令和7年12月

(協力会員・賛助会員)

(株)城北鉄力印刷工業所

代表取締役社長 竹腰 三徳

令和7年

《住所変更》

(西日本賛助会員)

(株)神光

〒673-1304

兵庫県加東市長員1827

電話0795-4711983

FAX 0795-4711996

令和7年7月15日より

《お悔やみ》

(東日本組合員)

令和7年8月2日

エー・イー・CAN(株)

取締役TME

海老塚 眞一様 ご逝去

令和7年8月27日

全日本一般缶工業団体連合会 専務理事

東日本一般缶工業協同組合 事務局長

伊藤 信也様 ご逝去

